

2 年「すてきなえがお」

展開例

- 主題**…先生の願いや意図が明確になるよう 1 文で表します
- 導入**…導入の後、どこかで、導入に関わる問いや話を入れます。そうすることで授業に一貫性が出ます
- 展開前段**=立場発問…ある人の立場を取得して共感する学び
- つなぎ発問①**…教材の学びから、児童生徒の実感に即した見方や考え方に広げ、展開後段の問いを多角的な視野から考えることができるようにする
- 展開後段**=主題発問…道徳的価値について考えを深める学び
道徳的価値の「在り方」「見方・考え方」「意味」「なぜ大切なのか」「よさ」「態度・意欲」の観点で考えさせる
- つなぎ発問②**…展開後段で出された主題発問への考えを生活とつなげるために、「もしも、皆さんの身の回りで〇〇なことが起こっても、これらの考え方をもっていると、どんなことができると思いますか」など、振り返りの 4 観点に関わる話をして、終末の振り返りの手がかりにする
- 終末**=主体発問…自己の生き方について考える学び
学習から学んだことを鏡として、これまでの自分を見つめて、自分のよさを見つけたり、よりよい自分の姿を想像したりする観点をもって振り返る

振り返り…ウェルビーイングの視点を取り入れた観点を示して振り返らせる

「皆さんの考え方や行動は、もっとよくなります。そのために振り返りましょう」

まず、今日の学習から、学んだこと・分かったことを書きましょう

そして、次のことについて書きましょう

- ・これまでできていること、満足していること（よさ・自己肯定感）
- ・もっとやってみたいこと、もっとできそうなこと（ポジティブ・目的意識）
- ・誰かといっしょにやりたいこと、誰かといっしょならもっとできそうなこと（他者との協働）
- ・これから、なりたい自分（自己実現への期待）

※この中から、先生がいくつか指定して書かせる、または、子どもが自分で選んで書かせます

※振り返りの 4 観点を取り入れて、低中高学年別、また ABCD 別にした「振り返りシート」も作成していますのでお問い合わせください。

先生の、児童生徒に一番考えさせたい願いや意図（主題）に基づいて、よいように授業をおつくりください

主題	謝れない気持ちに負けるな
導入	悪いことをしたとき、どんな思いや気持ちを大きくすると、謝ることができるのでしょうか
展開前段	○お婆さんの足を踏んだとき、「わたし」は、どんなことを思ったでしょう ○お婆さんのすてきな笑顔を見て、「わたし」は、どんなことを思ったでしょう ○「わたし」の胸がすうっとしたのは、どうしてでしょう
つなぎ発問①	○「わたし」は、どんな悪いことをしてしまったのでしょうか ○「わたし」は、どんなことを迷っているのですか ○悪いことをしたとき、なかなか謝ることができないのは、どんな気持ちがあるからでしょう
展開後段	謝ることができない気持ちよりも、どんな思いや気持ちを大きくすると謝ることができるのでしょうか

つなぎ発問②	「わたし」は、頭も下げて謝ることができましたね。謝る思いや気持ちがおおきくなると、態度にも表れるものですね ・今日の学習から、分かったこと、心に残しておきたいことはどんなことですか ・①のことで、もう、きちんと謝ることができたことは、どんなことですか ・①のことをもとに、これから、どんなことをしていきたいですか ・①のことをもとに、これから、どんな自分になったらステキでしょう では、振り返りを書きましょう
振り返り	